



## 第12回日本ロングディスタンス選手権佐渡大会レース速報

# 男子は松丸が4年ぶり、女子は西が初優勝

### 女子2位は関根、3位は久保田。男子2位は高濱、3位は河原

9月7日(日)、新潟県佐渡市で、第12回日本ロングディスタンストライアスロン選手権が行われた。

午前6時45分スタートの男子は、スイムトップを疋田浩気(静岡県協会)が25分13秒で奪うと、杉本宏樹(チームブレイブ)、小池賢(千葉県連合)と続いた。4連覇を狙う河原勇人(トーションパートナーズ・チームケンズ)は8位。その河原に3年前に5連覇を阻まれた松丸真幸(チームコラテック)は16位。

バイクに入ると、序盤から松丸がトップを猛追、60kmを過ぎた地点では、松丸、疋田、約3分差で河原、益田大貴(湘南ベルマーレ)、高濱邦晃(チームコラテック)の順。このあたりから激しく雨が降りはじめた。その後、疋田が遅れると、松丸が独走態勢を築いた。

ランでは、リードした松丸が快調に飛ばす。河原と高濱は、ラン前半をサイド・バイ・サイドで前を追うが、高濱がリードすると河原は



横一線で飛び出した女子のスタート



スイムはいい位置の河原だったが



バイクをトップで飛ばす松丸

#### 西 麻依子

湘南ベルマーレ



順位を気にせずに戦ったことで、焦ることもなく、いい結果を出すことができた。雨が降ったことも、涼しいコンディションになってよかった。バイクの後半がきついことを聞いていたので、前半は回すことを心がけ、後半は踏み込んだ。これからも機会があれば、ロングに出たい。

#### 関根 明子

NTT東日本・NTT西日本



ランの前半で一度あきらめかけたが、折り返し前に久保田選手とすれ違ったとき、行けるのではないかと思い、後半の下りは思い切り飛ばした。スイムはいい位置で上がったし、バイクもランも長い距離とは感じなかった。もったきちんと練習しないと勝てないことが分かった。

JTU Official Sponsors & Official Partners



遅れてしまう。

雨が上がって気温も高くなり始めたころ、独走を続けた松丸が4間25分18秒のタイムで、4年ぶり5度目の優勝を果たした。2位には、同じチームの高濱が入り、河原は3位となった。

午前6時48分スタートの女子は、西麻依子(湘南ベルマーレ)がスイムを27分33秒のタイムでトップ通過。2位は蔵本葵(東京ヴェルディ)。注目の関根明子(NTT東日本・NTT西日本)は、約2分秒遅れの4位だった。

バイクでも西は、2位以下を寄せ付けずにトップを走り続けてランへ。バイクまでは、2位が関根、3位が久保田早紀(チームプレイブ)の順だった。

ランでもまた、西がリードを保ったまま走りきり、5時間7分54秒のタイムで初出場初優勝を飾った。2位にはラン序盤で3位に落ちたが盛り返した関根が入り、3位は久保田が守った。

この結果、2009年のITUロングディスタンス世界選手権パース大会への派遣は、西と松丸に決まった。

同時開催の2008佐渡国際トライアスロン大会Aタイプは、女子は森円佳(東京都連合)が11時間48分30秒で、男子は松下篤志(大阪府協会)が9時間56分39秒で、Bタイプは、女子は小林恵(山形県協会)が5時間17分20秒で、男子は小野俊巳(新潟県連合)が4時間49分18秒でそれぞれ優勝した。

なお、レースの様子はJTUホームページのフォトギャラリーでご覧になれます。



ランの序盤は、河原と高濱の3位争いが続いた



西はうれしい初優勝

#### 松丸 真幸

チームコラテック



バイク途中で雨が降ってきて視界が悪くなり、少しナーバスになったが、反面身体が冷やされて良い点もあった。小木後の登り下りで、スピードを上げて後ろを引き離れた。来年の世界選手権は、各国の競合とレースをする。世界レベルの選手とは実力差を感じている。万全の準備で臨む。

#### 高濱 邦晃

チームコラテック



バイクの前半で少し後ろに下がったが、後半復調して、結果的にはバイクを気持ちよく走れた。前の選手が見える位置で走れたのがいい結果につながった。ランでは河原選手を目標にした。酒田のスーパープリントで負けていることもあって、借りを返したかった。

JTU Official Sponsors & Official Partners

